

明 示 書

講座の名称	医歯学総合研究科医歯理工学専攻修士課程医療管理学コース													
実施方法	① 通学 (昼間・夜間・土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)													
指定講座番号	6	3	2	9	3	—	1	1	1	0	0	3	—	4
新指定番号	1321293-1110032-6													
講座の創設年月日	教育訓練給付金対象講座の指定期間				過去一年の講座実績	入講者数(累積)(6人)			修了者数 (6人)					
年月日	令和5年3月31日まで													
訓練期間	12ヶ月					総訓練時間			904時間					
1、教育訓練目標														
①取得目標とする資格の名称、目標レベル						修士(医療管理学)の学位を取得することを目標とする								
②①に係る資格・試験等の実施機関名称						東京医科歯科大学								
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等						1) 大学を卒業した者 2) 学校教育法第104条第4項の規程により学士の学位を授与された者 3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者 4) 本大学院において個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者など								
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況						当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務: 1) 医療機関において病院長・副病院長などの医療機関管理責任者およびその職に就こうとする者 2) 部門を含む医療機関の管理運営において中心的職位にあるか、将来その職に就こうとする者 3) 医療機関の管理運営を委託され、中心的役割を担っている者、あるいは将来その職に就こうとする者 4) 教育機関、医療機関、研究機関などで教育及び研究に従事し、医療管理学を学ぶことを希望する者 習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況: 1) 医療機関において、体系的な管理業務および部門の管理業務に従事し、実績を上げている。 2) 医療機関団体の上部組織および医療コンサルタント企業において、医療機関への医療管理面での指導・助言に従事し、実績を上げている。 3) 教育機関、医療機関、研究機関などで医療管理学の教育および研究に従事し、実績を上げている。								
2、教育訓練の内容														
教科(カリキュラム)時間														
医療提供政策論	16	病院情報管理学	16	ヘルスリテラシーと啓発論	16									
医療社会政策論	16	診療情報管理学	16	医学概論	16									
世界の医療制度	16	IT時代の診療診断システムとセキュリティ	16	臨床研究・治験	16									
医療保険論	16	医療思想史	16	健康情報データベースと統計分析	16									
医療保険制度改革論	16	世界の文化と医療	16	課題研究(報告書作成)	360									
医療計画制度	16	世界の宗教と死生観	16	使用教材名										
医療産業論	16	病院設計・病院設備	16	日本の医療-統制とパラス感覚-, 厚生労働白書, 国民衛生の動向, 厚生省50年誌, 戦後医療の50年, 公共政策学, 政策分析入門, 保健医療計画のトピックス, 実定行政計画法「プランニング」と法, 医療計画の見直しに関する報告書, 人は誰でも間違える, ヘルスケアマネジメント, 医療におけるヒューマンエラー, 医療の質マネジメントシステム-医療機関におけるISO9001の活用, 医療の質マネジメントシステム-医療機関必携 質向上につながるISO導入ガイド, 医療における総合的質経営, 医療の質用語辞典, エビデンスに基づく臨床パス-これからの医療記録とグリアン分析, 病院機能評価マニュアル, 医事訴訟と専門情報, DPCデータ活用ブック・第2版, 21世紀の医療と診断群分類, DPCと病院マネジメント, 民間病院DPC導入事例集, 疾病・生涯および死因統計分類提要 第2巻, 医療科学第2版, 医学の歴史, 聖書の起源, 西欧精神医学背景史, 医学をきづいた人々(上・下), 医療パラス・スコアード: 英米の展開と日本の挑戦, 医療原価計算: 先駆的な英米医療界からの示唆, 病院原価計算: 医療制度適応への経営変革, トータルロジスティクス, 生涯マネジメントの手法, 高度成熟社会の人間工学, 問われる医療システムと医師の資質, ホームドクターを探せ!, 一滴の血液で体はここまで分かる										
医療経済論	16	衛生工学・汚染管理	16											
医療と社会の安全管理	16	戦略と組織	16											
医療機関リスク管理	16	財務・会計	16											
医療のTQM	16	ロジスティクス	16											
医療機能評価	16	人的資源管理	16											
医療制度と法	16	人材の開発と活用	16											
医事紛争と法	16	医療におけるリーダーシップ論	16											
生命倫理と法	16	医療とコミュニケーション	16											
合計 904時間														
3、受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)														
①受講するに当たって必要な実務経験等						医療従事者としての実務経験あるいは、経営・研究・管理分野での実務経験								
①受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準						・医療管理学習得に必要な医療一般の知識 ・医療管理学研究に必要な社会科学的知識および実務経験								
③その他														

明 示 書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況						
(1) 資格取得状況						
① 昨年度内の受講修了者数		6	人			
② ①のうち目標資格の受験者数		6	人	受験率(②/①)	100.0	%
③ ②のうち合格者数		6	人	合格率(③/②)	100.0	%
④ 上記②・③の回答者数		5	人			
(2) 受講修了者による講座の評価等						
① 回答者総数		5	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	5	人	②A: 就業者計	5人	
	2 非正社員、派遣社員	0	人			
	3 その他の就業(自営業等)	0	人			
	4 学生	0	人	②B: 非就業者計	0人	
	5 求職中	0	人			
	6 その他(主婦、無職等)	0	人			
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	2	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	5人	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	1	人			
	3 社内外の評価が高まる	2	人			
	4 円滑な転職に役立つ	0	人			
	5 趣味・教養に役立つ	0	人			
	6 その他の効果	0	人			
	7 特に効果はない	0	人			
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0人	
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人			
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人			
	4 趣味・教養に役立つ	0	人			
	5 その他の効果	0	人			
	6 特に効果はない	0	人			
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0人	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人			
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人			
	4 就職していない	0	人			
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	5	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	5人	
	2 おおむね満足	0	人			
	3 どちらとも言えない	0	人			
	4 やや不満	0	人			
	5 大いに不満	0	人			
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法						
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法		個別の科目についての達成度を、講義中の討議内容、筆記テスト、レポートのいずれかで評価し、単位認定を行う。さらに、研究報告に対して内容評価及び口頭試験を実施している。				
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数						
6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法						
個別の科目についての達成度を、講義中の討議内容、筆記テスト、レポートのいずれかで評価し、単位認定を行う。さらに、研究報告に対して内容評価及び口頭試験を実施している。						

明 示 書

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法																															
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	少人数クラスのため、講義中に積極的な質問をうけることが可能である。その後も科目担当者と受講者の間で e-mail 等でやりとりを行っている。																														
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	就職について、大学側がサポートする必要が生じる頻度は高くないが、指導教員がサポートする体制を取っている。																														
8. その他の事項																															
指定教育訓練実施者名及び代表者名	国立大学法人 東京医科歯科大学 (代表者名: 田中 雄二郎)																														
住所及び連絡先	〒113-8510東京都文京区湯島1-5-45 TEL 03-3813-6111																														
施設名称及び施設長名	東京医科歯科大学大学院 (施設長: 田中 雄二郎)																														
住所及び連絡先	〒113-8510東京都文京区湯島1-5-45 TEL 03-3813-6111																														
給付制度担当部署・者	学生支援・保健管理機構事務部 学生支援事務室 (担当者: 渡辺、藤本)																														
連絡先	TEL 03-5803-5078																														
教育訓練経費 支払い方法	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">1. 教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">817,800</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)</td> <td style="text-align: right;">282,000</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)</td> <td style="text-align: right;">535,800</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">③ 両方可能</td> <td style="text-align: right;">(うち、必須教材費 0)</td> <td style="text-align: right;">円)</td> </tr> <tr> <td>2. 教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">① 副読本代 (税込額)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">③ 施設維持費 (税込額)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>3. 総額 (1+2) (税込額)</td> <td style="text-align: right;">817,800</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> </table>	1. 教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)	817,800	円	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	282,000	円	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	535,800	円	③ 両方可能	(うち、必須教材費 0)	円)	2. 教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		円	① 副読本代 (税込額)		円	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)		円	③ 施設維持費 (税込額)		円	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)		円	3. 総額 (1+2) (税込額)	817,800	円
1. 教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)	817,800	円																													
① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	282,000	円																													
② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	535,800	円																													
③ 両方可能	(うち、必須教材費 0)	円)																													
2. 教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		円																													
① 副読本代 (税込額)		円																													
② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)		円																													
③ 施設維持費 (税込額)		円																													
④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)		円																													
3. 総額 (1+2) (税込額)	817,800	円																													

〔特記事項〕